

■（１２４）元同僚記者の告白、ビアガーデンで取材後に……

「ビアガーデン オープン」は、初夏の定番取材の一つだ。転職した元同僚記者から最近、新人時代の恥ずかしい体験を告白された。取材後、相手に誘われるまま麦酒をごちそうになり、赤い顔をしてご機嫌で会社に戻った。すると、デスクから烈火のごとく怒られ……。

相手に特別な意図がなかったとしても、政治家や公務員ならば「わいろ」と疑われても仕方がない状況だったからだ。季節を伝える取材テーマだが、ビアガーデン側にしてみれば、新聞やテレビでうまく取り上げられれば宣伝効果は小さくない。うまく書いて欲しいと願うのは当然だ。そんな相手につけこんだと勘違いされたら、個人だけでなく新聞の信頼までも失ってしまうぞ、という上司の怒りだった。

失った信用を取り戻すのは簡単ではない。「おごられたら、おごり返せ」「直接の取材先からのお歳暮やお中元は、原則として受け取るな」と指導されてきた。同僚は別の職業に移っても、その精神を守っているという。

４０数年前、小学校でパン工場見学に行った。土産はメロンパン。「妹と弟がいる」と２個追加してもらった。記者なら「悪徳記者」。でも、子供だったので許して下さい。（山）